

**製品名: KKIALRE ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13043**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDKL1
別名	CDKL1; Cyclin-dependent kinase-like 1; Protein kinase p42 KKIALRE; Serine/threonine-protein kinase KKIALRE
遺伝子 ID	8814.0
SwissProt ID	Q00532
免疫原	抗血清はヒト CDKL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

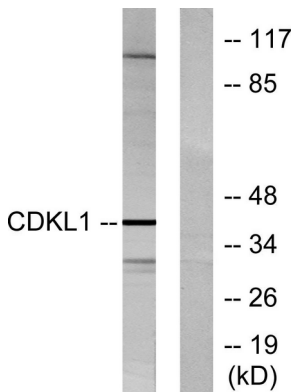
**背景**

この遺伝子産物は、CDC2 関連セリン/スレオニンプロテインキナーゼの大規模なファミリーの一員です。主に核内に蓄積します。こ

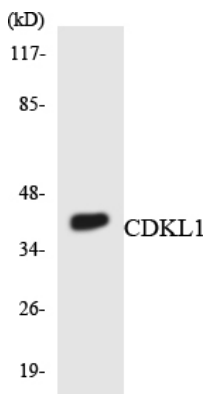
の遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2013年8月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、ドメイン: [NKR]KIAxREモチーフはサイクリン結合領域であると考えられます。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。CMGCセリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリー。CDC2/CDKXサブファミリー。、類似性: 1つのプロテインキナーゼドメインを含みます。、組織特異性: 腎臓で高発現し、卵巣では低発現します。、

## 研究分野

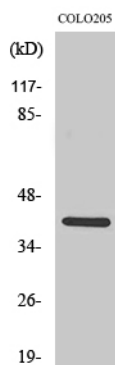
## 画像データ



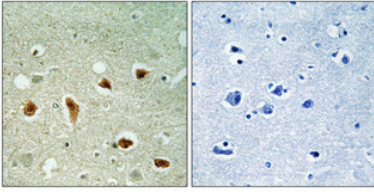
COLO205細胞ライセートのCDKL1抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CDKL1抗体を使用したCOLO205細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 500に希釈したKKIALREポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。